

製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 5 0 8 5

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2001. 3. 1	
製品の特定	製品名： 省エネシールド#1S A液 白色				
	<u>製品説明</u>				
	種類： シリコン変性アクリルウレタン樹脂塗料				
	主な用途： 遮熱塗料主剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	

合計			100		
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体 (消防法、危険物第四類第二石油類、非水溶性)				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

	使用可能な 消火剤	水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆水を消火に用いてはならない。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆工具は火花防止型のものを用いる。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。	
	<u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取り扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 ☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○] ペースト状 [] 固体 : 固形状 [] 粉末状 [] 色 : 白色 臭気 : 溶剤臭・アクリル樹脂臭			
	沸 点 : 151~196℃ 蒸気密度 : 3~4 密 度 : 1.04 P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 42.2℃ 発 火 点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 0.6% (上限) 7.5%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 通常の取扱い条件において安定である。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO, CO ₂ , ガス、ススなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	<u>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</u>				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性

LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 溶剤 LAWS 高沸点脂肪族炭化水素 CAS No. 64742-81-1 ソルベックス100 高沸点芳香族炭化水素 CAS No. 64742-95-6					
<u>製品に関する有害情報</u> 溶剤 LAWS 許容濃度未設定 ソルベックス100					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。 ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。 ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。 海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。 航空輸送 : 航空法の定めに従う。 国連番号 : 1866</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤） 消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ 船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u> ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」 「MSDSガイドブック」 ☆溶剤ポケットブック ☆危険物防災救急便覧 ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意] 危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。 記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	

製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 5 0 8 6

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2001. 3. 1	
製品の特定	製品名： 省エネシールド#1S B液				
	<u>製品説明</u>				
	種類： ポリイソシアネートポリマー溶液				
	主な用途： 省エネシールド#1S 硬化剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	

合計			100		
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体 (消防法、危険物第四類第二石油類、非水溶性)				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

火災時の処置	使用可能な 消火剤 水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕
漏出時の処置	<u>消火方法</u> ☆水を消火に用いてはならない。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。 ☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆工具は火花防止型のものを用いる。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。 <u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取り扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 ☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○] ペースト状 [] 固体 : 固形状 [] 粉末状 [] 色 : 淡黄色 臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 151~196℃ 蒸気密度 : 3~4 密 度 : 1.00 P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 42.2℃ 発 火 点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 0.6% (上限) 7.5%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 通常の取扱い条件において安定である。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO, CO ₂ , NO, NO ₂ ガス、ススなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性

LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 溶剤 LAWS 高沸点脂肪族炭化水素 CAS No. 64742-81-1 ソルベックス100 高沸点芳香族炭化水素 CAS No. 64742-95-6					
<u>製品に関する有害情報</u> 溶剤 LAWS 許容濃度未設定 ソルベックス100					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。 ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。 ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。 海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。 航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤） 消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ 船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u> ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」 「MSDSガイドブック」 ☆溶剤ポケットブック ☆危険物防災救急便覧 ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意] 危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。 記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	